

## 8月4日(火) 三者面談



今週は1・2年生は「二者面談」、3年生は「三者面談」になっています。新型コロナウイルスの感染拡大で今年度は授業参観や家庭訪問もなく、今回が初めての先生と保護者との場になりました。

3年生は部活も一区切りがつき、これから中学卒業後の進路について真剣に考えなくてはならない時期です。その意味でも、担任、保護者、生徒で今後の進路について考えるいい時期だと思います。でも気になることがあります。面談を進めていくと、どうしても担任と保護者の話が中心になり、肝心の子どもの考えが見えてこないことがあります。進路選択するのは子どもであるはずなのに、大人の考えだけが先に進んでしまい、子どもは受け身のまま。「あなたは中学卒業後、いったい何がしたいの?」ということを自己決定せずにいるからいつまでも自分の進路に真剣になれないのかもしれないかもしれません。

私たち大人も、まずは子どもの気持ちや考えをしっかりと受け止め共感する。そして、安心感を与えてから、「どうしたいの?」と自己決定させる。自分の子どもであっても一人の人間です。自分の人生は自分で切り開いていくものです。自己決定する力、自分なりの納得解を持たせることこそが「予測困難な未来社会」を生きる子どもたちに必要な力です。